

議会だより

2024
NO. 53

令和6年
11月1日発行

議員が編集した、まんのう町民と議会をつなぐ広報誌

心も体もイキイキ
真剣な表情でトライ



今回の定例会



— 琴南老人ふれあいスポーツ大会 —

令和5年度決算を認定

9月定例会	2
委員会報告	9
11人が町の考えを問う 一般質問	13
まんのう町の春夏秋冬	20



11月バージョン
まんテンちゃん



まんのう町議会
ホームページ

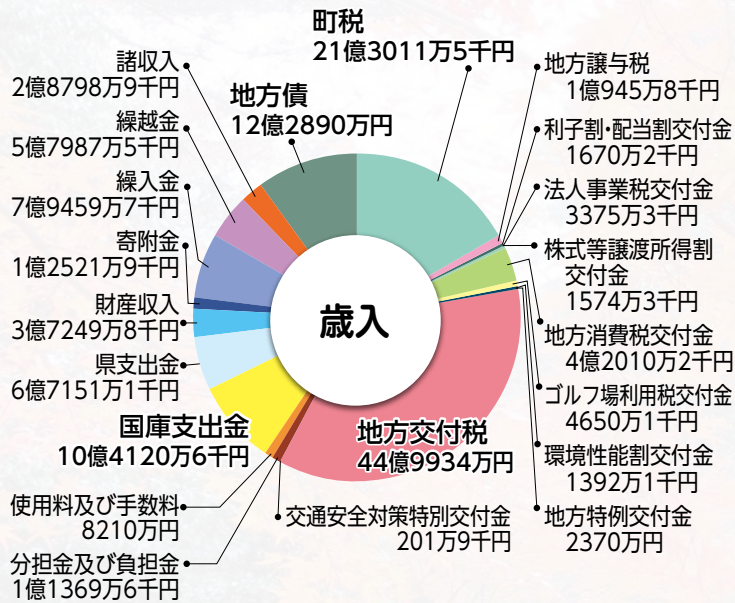
住みやすい町づくりを目指して

<https://www.town.manno.lg.jp/chosei/gikai/>

令和5年度一般会計歳入歳出決算

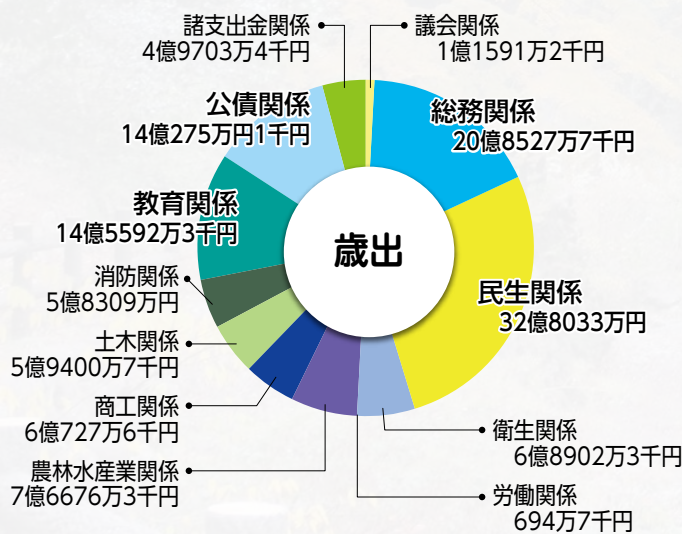
歳入総額 **126 億 895 万円**

まんのう町に入ったお金



歳出総額 **120 億 9064 万円**

まんのう町が支払ったお金



※歳入・歳出総額は、千円単位で四捨五入

開催期間

9月4日～9月27日（24日間）

令和6年9月定例会

令和6年度一般会計補正予算(案)(第2号)、町若者定住促進条例の一部改正、町子ども・子育て会議条例の一部改正、町農村環境改善センター条例の一部改正など9議案の審査を行い原案通り可決した。

また、令和5年度一般会計及び6つの特別会計の歳入歳出決算の審議を行い認定した。

人権擁護委員の推薦に同意した。

令和6年

9月定例会

付託案件

令和5年度決算認定

各常任委員会で所管する案件について執行部に必要書類の提出と詳細な説明を求め慎重に審査を行った。

【認定第1号】

令和5年度一般会計歳入歳出決算認定

事前に、教育民生常任委員会、建設経済常任委員会において、それぞれの所管部分の審査、質疑を行い執行部の説明を了解した旨、総務常任委員会に報告があった。

主な質疑と答弁

《教育民生常任委員会関係》

▼老人クラブ活動

【委員】各老人クラブの活動と補助金はどうなっているのか。

【執行部】申請された事業計画書に沿った、活動内容や参加人数の報告に基づき補助金を交付している。

▼不妊不育治療

【委員】最近是不妊治療を伴う出産が多いと聞が、不妊不育治療助成の該当人数と増減傾向はどうか。

【執行部】合計23件であった。治療の特性により、年度をまたぐ治療等もあり、年度単位での人数は捉えにくい。



▼やすらぎ荘

【委員】やすらぎ荘管理運営事業費の工事請負費は、何の工事か。

【執行部】かなり老朽化していた車いす用の入浴設備を、リフト型のものに改修したものである。



入浴設備を改修(やすらぎ荘)

▼スクールソーシャルワーカー

【委員】継続支援対象児童生徒のうち、発達障がい等に関する件数が大きく減少している。かなりの改善がみられたのか。

【執行部】この件数は各学校へ調査項目のチェックをお願いし、それを積み上げたものを件数として集計したもの。まんのう町の早期支援教育センター(いくむ・たむ)の活動もあり、各学校における、困り感が解消されているのではない。

▼学校図書館

【委員】読書の機会確保に学校図書書の充実は大切である。教育振興費における、図書購入費は増えているのか、減っているのか。

【執行部】対前年比は若干の減少となっているが、図書の入れ替え等、様々な要因で増減は発生する。

《建設経済常任委員会関係》

▼ふるさと納税返礼品

【委員】ふるさと納税に係る委託料は、どこに、どのようなことを委託しているのか。

【執行部】中間事業者に返礼品のグレードアップについて委託しており、返礼品の写真の撮り方や新しい返礼品の提案をしてもらっている。



返礼品 島ヶ峰そば

【委員】体験型の返礼品とは何か。

【執行部】町内3箇所のゴルフ場の利用券や宿泊券(阿讃琴南)である。

▼縁結び支援

【委員】愛が満々カップル創生事業の実績がなかった理由は何か。

【執行部】ひまわりまつりと共同開催を予定していたが、中止となったため事業を実施できなかった。



返礼品 さぬきのめざめ

▼農地利用の効率化・高度化の推進

【委員】香川県農地機構は現在、職員1名で対応しているが、今後職員1名で相談等の対応は可能なのか。

【執行部】令和7年度から農地の貸し借りは香川県農地機構で手続きを行うこととなるが、香川県農地機構と協議をして農業委員会と共同で行うこととしたため、増員の必要はないと考えている。

▼ラジオ宣伝

【委員】お宝ディスカバリーラジオの広告料は、毎年度に必要となるのか。

【執行部】FM香川に依頼している。毎月1回と再放送1回の放送料となり毎年度必要となる。

▼仲南道の駅のトイレ

【委員】清掃の頻度は。トイレ利用者からの苦情はないか。

【執行部】仲南振興公社には、トイレに関する苦情が年間数件届いている。

ている。清掃業務は町が清掃業者に直接委託している。毎日の清掃を委託しているが、今後は清掃状態の確認を仲南振興公社にお願いしたい。

《総務常任委員会関係》

▼専門職員の採用

【委員】本町では、教育や医療関係の専門職員はいるが、手薄な部署がある。県との人事交流や県職員OBを採用してはどうか。

【執行部】現在、建設土地改良課に県職員OBの技術職1名、農林課に県の課長OBを1名採用している。今後も専門職員として県職員OBの採用を考える。

▼広報まんのう

【委員】紙面を全面カラー化してはどうか。

【執行部】費用面から全面カラーは難しいが、今年度は成人式の記事を掲載する月(2月号)の広報

誌は、オールカラーを予定している。また、町広報誌とホームページとの連携・誘導の強化を図り、ホームページ上でカラー写真などにより広報できるようにする。

▼選挙制度改革

【委員】令和4年度末に、総務常任委員会でもとめた選挙制度改革の要望書を、議長を通じて選挙管理委員会に提出したが、その後、どのような協議がされたのか。

【執行部】今後の取り組みとして、琴南支所にて期日前投票所を開設予定である。投票所の統合については、具体的な検討もされているが、町民の理解が大切であり、町政懇談会などで十分に周知していきたい。また、投票時間の短縮は、投票率との関係もあり、県の選挙管理委員会と慎重な協議が必要である。

▼避難所の運営体制

【委員】避難所では女性職員の役割が大きいと思われるが、本町の避難所での運営体制はどうなっているのか。

【執行部】大規模な災害の場合は全職員での対応となるが、その他の災害時に避難所を開設した場合において、昼間は女性職員も対応するように検討している。



教育民生常任委員会

【議案第5号】

町公民館条例の一部改正

四条公民館の増改築に伴い、新たに設けた多目的ホールの使用料及び冷暖房使用料を、満濃農村環境改善センターや近隣の公民館に併設されたホール料金等を参考に改定し、施行は、令和6年10月1日とした。



スポーツ吹き矢

主な質疑と答弁

▼新たな使用料金

【委員】多目的ホールの広さにみて、ホールという捉え方では無く、公民館内の一番広い部屋という概念で、もう少し安価な料金設定は出来ないのか。

【執行部】多目的ホールはなぎなた等の練習にも使用可能なように、強度と耐久性のある床としており、あくまで部屋では無く多目的に利用できるホールとしての機能を有している。

【委員】多目的ホールを短時間利用した場合に対応できるような料金設定は考えられないか。

【執行部】使用実績等を調査し、近隣市町の料金設定を参考にするのは無論だが、本町の公民館条例を基本に、ホール利用者の利便性に考慮した住民目線での検討を行っていく。



【議案第7号】

事業変更契約の締結について
(町立満濃中学校改築・町立図書館等複合施設整備事業)

まんのう町立満濃中学校改築・町立図書館等複合施設整備事業について、契約条項に基づき、急激な物価上昇に対応する契約条項の履行を行った。また、大規模修繕に関するもの及びシステムサーバーの更新業務発生により、契約内容を変更した。

〈変更増の契約金額〉

金7113万6940円

〈既契約金額〉

金84億9364万4683円

〈契約の相手方〉

まんのう町吉野下

株式会社まんでがんパートナーズ

代表取締役 野村 建輔

主な質疑と答弁

▼物価変動

【委員】今回は急激な物価の上昇による契約変更だが、将来、物価が大幅に下がった場合の対応はどうなるのか。

【執行部】急激な物価変動については、5年に一度見直しを実施される。

可決 原案

【議案第8号】

香川県後期高齢者医療
広域連合規約の一部変更

令和6年12月2日に現行の被保険者証が廃止されることに伴い、香川県後期高齢者医療広域連合の規約を変更するために、関係地方公共団体の協議が必要になったものである。

可決 原案

建設経済常任委員会

【認定第5号】

町下水道特別会計
歳入歳出決算認定

決算額は歳出総額1億6933万4千円で前年度対比8・6%減。供用人口2633人、接続人口1921人・公共下水道普及率15・4%であった。

可決 原案

【認定第6号】

町農業集落排水特別会計
歳入歳出決算認定

決算額は歳出総額2454万4千円で前年度対比16・3%減。供用人口460人、接続人口368人であった。

可決 原案



【議案第2号】

町若者定住促進条例の一部改正

若者の本町への移住や定住を引き続き促進するため、本条例の有効期限を令和7年3月31日から令和12年3月31日までの5年間延長した。

また、空き家の利活用の活性化を図るため、中古住宅を購入した際の補助率を従来の5%から10%に引き上げ、上限を50万円から100万円にした。

可決 原案



5年間延長されます

【議案第6号】

字の区域の変更

炭所西において、まんのう町土地改良区が事業主体として、農地耕作条件改善事業(塩田地区)を施行したことに伴い、従来の字界が原型を留めなくなったため新字界を定めた。

可決 原案

総務常任委員会

【議案第1号】

町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

会計年度任用職員の待遇改善の一環として、同職員間で責任の度合いが著しく重いと認められる職務を行う者に対して、給料に加算できる金額の上限を一律1万円から、給料月額額の100分の25へ改正した。

主な質疑と答弁

▼対象職員・加算基準

【委員】 条例改正による対象者はどのような職種を想定しているのか。また、加算基準等の詳細はどのように定めるのか。

【執行部】 対象職員は、保育教諭において、正規職員の育児休暇などで臨時的に会計年度任用職員がクラス担任となる場合を想定しており、本議案が可決されれば、詳細を規則で定めた上で10月から対象者へ周知する。

可決 原案

【議案第9号】

令和6年度町一般会計補正予算(案)(第2号)

満濃南こども園への大型スライドルーフテント設置工事費、香川県が新たに創設した多様な農業人材支援事業補助金、仲南地区の町道の軟弱なりの面の補



大型スライドルーフテント(イメージ)

強工事費、県広域水道事業団負担金(仲南地区の飲用水の水源となる地蔵前ダムの水源確保事業)などのため、歳入歳出それぞれ1億998万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ120億4638万3千円とした。また、小学校給食調理業務委託にかかる債務負担行為を設定した。

事前に、教育民生常任委員会、建設経済常任委員会において、それぞれの所管部分の審査、質疑を行い執行部の説明を了解した旨、総務常任委員会に報告があった。

主な質疑と答弁

《教育民生常任委員会関係》

▼大型スライドルーフテント

【委員】 満濃南こども園に設置される大型スライドルーフテントとはどのようなものか。

【執行部】 天幕の開閉が行えるテントで、砂場付近の日除けとして利用する。なお、設置費用に関しては慈善団体の寄付金を元にしていく。

《建設経済常任委員会関係》

▼香川用水受水負担金

【委員】 香川用水受水負担金が追加補正となった理由は。

【執行部】 補正の時期や理由など、過去の手続きを確認する。



報告

【報告第1号】

令和5年度まんのう町健全化判断比率及び資金不足比率

資料の提出と説明を受けた。

1. 健全化判断比率 (単位: %)

区 分	令和5年度	早期健全化基準	財政再生基準
実 質 赤 字 比 率	実質赤字額はなし	14.03	20.00
連結実質赤字比率	連結実質赤字額はなし	19.03	3.00
実 質 公 債 費 比 率	8.4	25.0	35.0
将 来 負 担 比 率	将来負担額はなし	350.0	

2. 資金不足比率 (単位: %)

公営企業会計の名称	令和5年度	経営健全化基準
下水道特別会計	資金不足額はなし	20.0
農業集落排水特別会計	資金不足額はなし	20.0
浄化槽整備推進事業特別会計	資金不足額はなし	20.0

監査委員の審査意見

本町の健全化判断比率は法令の定める基準を下回っており良好な状態にあるといえる。今後も財政規律を維持し健全な財政運営と財政基盤の強化に努められたい。

また、各事業会計においても前年度と同様に資金不足が生じた会計はな

く、今後も効率的な運営、健全な経営に努められたい。

【報告第2号】

町土地開発公社の経営状況

【報告第3号】

一般社団法人ことなみ振興公社の経営状況

【報告第4号】

有限会社仲南振興公社の経営状況

町が出資する各公社の経営状況の報告を受けた。

即決案件

【議案第3号】

町農村環境改善センター条例の一部改正

満濃農村環境改善センターの解体工事決定に伴い、条例より関係する箇所を削除した。



【議案第4号】

町子ども・子育て会議条例の一部改正

根拠法令である、子ども・子育て支援法の改正に伴い、引用部分の字句を修正する改正を行った。

【諮問第1号】

人権擁護委員候補者の推薦

○造田 田中 淳 氏(再)
○七箇 和泉 正浩 氏(新)
〈任期〉3年間(但し、任期満了後も後任者が委嘱されるまでの間、その職務を行う)



教育民生常任委員会 報告

●直営診療

診療延べ人数の減少

【委員】診療延べ人数の減少要因は、自然減であると推測されるとのことだが、この傾向は今後も続くのか。

【琴南支所長】歯科診療所は訪問診療も実施しており、ほぼ前年並みで推移しているが、内科診療所においては自然減の影響を受けており、今後も同様の推移が予想される。



内科診療所(造田)

●資源ごみ

資源ごみの収支

【委員】資源ごみの収支は、トータルでプラスなのかマ



回収される資源ごみ

イナスなのか。

【住民生活課長】人件費等を除外して処分費のみで考えれば、令和2年度、3年度はコロナの影響で収入が減っていたが、昨年度あたりから約400万円程度のプラスに転じている。

●子ども家庭相談

担当職員の負担

【委員】子ども家庭相談等の住民に深く関わる業務において、担当職員の精神的な負担は発生していないのか。

【福祉保険課長】多種多様なケースに関わるため、職員自身におけるメンタル部分の負担は気になっており、一人で抱え込まないようにサポートしている。

虐待等の発生

【委員】最近、家庭内で発生する児童虐待の報道が多いが、まんのう町では発生していないのか。

【福祉保険課長】まんのう町では、ニュース等で報道されるような痛ましい事案は発生していない。以前に比べ、早期

の段階で情報が入る環境になっているので、もし、報告があつ



温泉バス

た場合には、決められた指標や手順に沿って、関連する部署や団体と連携して対応する。

●温泉バス

満濃地区の運用

【委員】温泉バスの運行について、仲南支所管内のバス運行は、路線変更等の見直しを行ったが、満濃地区の運用について見直し等は考えているのか。

【健康増進課長】運行エリアが広いので、利用者が不便にならないように利用状況を精査し検討したい。

建設経済常任委員会 報告

●現地視察

8月26日林道琴南財田2-1号線開設現場(江畑奥)と林道小弥谷左岸線改良事業を現地視察しました。

●農地

■集積状況

【委員】農地の集積が進んでいる地区と進んでいない地区があるが、どのように踏まえているのか。

【農林課長】

地区別に集積を考察すると、条件のいい農地であっても農業後継者がおらず、近隣の農業法人に貸し付けることがある。また、ほ場整備ができていない農地は集積が進まないのが実状である。



●産直市

■品薄状態

【委員】仲南産直市の農産物などの商品が少ない。

【農林課長】仲南振興公社と協議し、改善策等について指導したい。

●定住者大学等奨学金 返還支援制度

■5年間の支援

【委員】想定より多くの方が申請をされたが支援期間終了後も定住して頂けるのか。

【地域振興課長】

この制度は、5年間の支援期間で実施しているが、期間終了後も定住して頂けるかは、わからない。だが、この制度を利用して頂いていることが定住の一端にはなるのではないかと期待している。



●解体工事

■遅れ、 トラブルはないか

【委員】満濃農村環境改善センター解体工事で、現在、工事の遅れやトラブルはないか。

【農林課長】工事の進捗状況は、今週中にアスベスト処理の工事を終える予定で、工程どおり順調に進んでおり、トラブルなどはない。



惜しまれつつ解体される農改センター

総務常任委員会 報告

●災害対策本部の対応

注意報と

警報発令になれば

【委員】本部をどうしたのか。
【総務課長】巨大地震注意の
発令には、災害警戒本部を
1週間設置し、日中以外に
は管理職が自宅待機で備え
ている。大雨土砂災害警戒

情報発令により、水防本部
を設置した。4月からは2
回である。



炊き出しの試食会(カレーライス)

浸水予測と河川

防災センター開設の 検討に

【委員】仮眠や休憩できる場
所はあるのか。

【町長】防災センターの設置
を検討したい。

●有給休暇

取得率

【委員】有給休暇の取得率は
どのくらいか。

【総務課長】夏季休暇の取得
は平均1.6日で、年休は1月
から、延べ取得率は平均で
25.3%である。

●DXの推進体制

研修会と アドバイザーの助言

【委員】DXをどう展開して
いるのか。

【総務課長】中讃広域で雇用
のDXアドバイザーが課題
聞き取りや助言を行った。
国から標準化が求められて
いるので、中讃2市3町で
の研修会に、DX担当職員
が参加した。

●交通事故ワースト

夜間交差点対策

【委員】対策を問う。

【企画政策課長】人口10万人
当たりの統計では、ワース
ト上位になる。夜間に信号
機のない交差点での事故が
多いから、靴に反射テープ
を貼っている。



●福祉タクシーへの移行へ

県と乗務員不足への 対策を

【委員】交通対策をあいあ
いタクシーから、福祉タク
シー主体に移行してはどうか。経営が成り立つように、
公費を使うべきでないか。

【企画政策課長】乗務員を増
やすための施策を県と連携

して検討する。タクシー会
社の経営が厳しい。

利益回復と 経営安定化補助金も

【委員】施設経営の公社の収
益を問う。

【企画政策課長】ことなみ振
興公社とグリーンパークま
んのうは、売上が回復し利
益も増えている。仲南振興
公社は、温泉の休館により
経営安定化補助金を出して
も赤字だ。費用は、各公社で
行っているのを把握してい
ない。次回までに調査する。

●税の滞納対策

預金の差し押さえと 不動産の公売

【委員】税滞納への対応策を
問う。

【税務課長】給料や預金口座
の差し押さえを行っている
が、近年、不動産の公売は
行っていない。

第16回 議会報告会(意見交換会)

町の将来や課題について、また議会へのご意見などをお聞かせください。



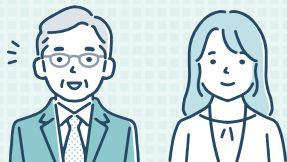
どの会場でも自由にご参加ください。

班	議 員 名	11月17日 (日)	11月19日 (火)
		13 時～ 15 時 	19 時～ 21 時 
A	◎ 常 包 恵	琴南総合センター (会議室)	長炭公民館 (会議室 1・2)
	合 田 正 夫		
	川 西 米希子		
	竹 林 昌 秀		
	松 下 一 美		
B	◎ 川 原 茂 行	四条公民館 (会議室 1・2)	吉野公民館 (会議室)
	大 西 樹		
	京 兼 愛 子		
	石 崎 保 彦		
	真 鍋 泰二郎		
C	◎ 大 西 豊	高篠公民館 (大会議室)	仲南公民館 (第 3 研修室)
	白 川 皆 男		
	白 川 正 樹		
	三 好 郁 雄		
	鈴 木 崇 容		

※◎は各会場の班長です。 ※当日、議会だより 53 号をご持参ください。



議員が町の考えを問う！



一般質問は、議員が町政全般について
現状や方針を問うものです。
これに対し、町は今後の事業の進め方や
問題解決のための考え方を答えます。



9月定例会では、11人の議員が一般質問を行いました。議員情報等は、まんのう町ホームページ(議会情報 <https://www.town.manno.lg.jp/chosei/gikai/>)に掲載していますので、ご覧ください。

一般質問の記事原稿は、質問した議員の責任において執筆しています。

松下 一美	○防災対策を問う	14p
鈴木 崇容	○「防災」 災害に対応する知識と準備 ○「DX推進室」今の取り組みと今後の方向性は	14p
川西 米希子	○災害時の「福祉的な支援」 および保健衛生環境の整備	15p
竹林 昌秀	○「地方創生」の政策経過の説明を求める。政府決算と展開された施策の代表事例の報告を求める ○町民の健康増進と体力づくり、そしてスポーツを楽しみながら、人々の繋がりを育むことをどう展開しているのか ○仲南振興公社が指定管理者を担っている集客収益施設の経営改善への竹林提言はどうか	15p
京兼 愛子	○未来ある子どもたちが健やかに成長するため	16p
白川 正樹	○姉妹縁組	16p
常包 恵	○給食費の無償化を ○水道未給水地の改善を	17p
石崎 保彦	○空き家対策と地域振興への活用	17p
川原 茂行	○森林とゲリラ豪雨の関係を問う	18p
真鍋 泰二郎	○SNSを活用した情報発信 ○道路異常の通報	18p
大西 豊	○随意契約は行政契約の締結一種の地方公共団体で競争入札に頼らず任意(随意)で決定した相手と契約を締結することであるが、適正に行われているのか ○町の各地区の集会場の運営及び利用状況 ○公用車の適正な管理運営	19p

防災対策

問

悪路に強い
オフロードバイクの導入を

答

地元消防分団と協議し、検討していく



悪路に強いオフロードバイク(イメージ)

松下 最近全国各地で線状降水帯等により、大きな被害が発生しているが本町においても災害発生時に面積も広く急傾斜地の多い琴南地区に小回りの利く悪路に強いオフロードバイク(125CC)を導入しては。

町長 災害支援時に車両の通行出来ない道路等において機動力のあるオフロードバイクは有効と思われる。導入に向けて、地元分団と協議し、検討していく。

松下 能登半島地震において、珠洲市では倒壊した家屋の解体撤去が行われているが、7月26日の時点での完了は10%にも満たない。所有者の所在がつかめないことが障害になっているようだ。本町の空き家の実態は。

町長 現在本町では775戸の空き家があり平成29年時の639戸より増えているが、空き家徐去支援事業で令和元年より12戸除去した。今後も空き家の解消に努めていく。

松下 現在災害時に告知放送だけでは、屋外でいるときは情報が入らない。そこで屋外拡声器の数を増やしてはどうか。

町長 本庁舎、支所、公民館等で屋外拡声器32基設置されているが、屋外でいる方々に向けて、拡声器の設置数を増やすなど、対策を検討していく。

まつした かずみ
松下 一美
議員災害に強い
町づくりを

防災

問

町で想定される災害と対応は

答

効率的かつ効果的な対策を講じる

すずき たかひろ
鈴木 宗容
議員災害の対策・対応に
念には念を

鈴木 満濃、琴南、仲南、各地区で想定される被害と災害対策、対応をどのように考えているのか。また、避難所での備蓄品の充実と、本町に新防災センターの建設を考えてはどうか。

町長 地区別での共通被害は火災、がけ崩れ、地すべり、家屋倒壊、半壊、水道の断水があり、特に琴南地区は、がけ崩れや地すべりによる道路通行不能による集落の孤立が考えられる。また、備蓄品は今一度見直し追加購入をする。防災センターは災害対応には欠かせない重要な施設であるため今後、建設に向けて検討し、防災センターが建設された際には危機管理課の配置することも視野に入れている。

DX推進室

サービスの充実としては、行政手続きのオンライン化、アナログ規制の見直し等を行う。



町長 高齢者のスマホ教室、小学生プログラミング体験等、またGIS地図情報が一括管理できるようにデータ整備等を行っている。連携後の事業等については、これから検討して行く。行政サービスの充実としては、行政手続きのオンライン化、アナログ規制の見直し等を行う。

問

今後
デジ田交付金の
更なる活用は

答

優位な財源を活用し
対応していく

問

在宅避難者への支援体制を

災害時の福祉的支援

答

家庭訪問・連絡先リスト・定期的連絡の体制を整える



かわにし まきこ
川西 米希子
議員

災害に備えて
水・食料品の備蓄を



川西 本町の地域防災計画では、避難所にペットと同行避難ができるとしている。しかし現状では本当に問題なく受け入れられるのか。

町長 避難所の横にペット用スペースを確保する。また、ペットと一緒に車の駐車場を設置するなど、の対応も計画している。

川西 避難所以外で避難生活を送る在宅避難者等への福祉的支援体制も整備を。

町長 自治体や保健師等が情報をリアルタイムで共有できるデジタルプラットフォームを構築することが大切であると考えている。直接家庭訪問を行い住民の状況を確認

するとともに、在宅避難者の連絡先リストを作成し保健師や関係者が定期的に連絡を取る体制を整える。

川西 災害時は避難所での衛生環境が非常に重要であり、清潔なトイレは感染症のリスクを減少させる。またトイレトレーラーは停電や断水などの被害があった地域にも移動させ使用することができ、ため導入を検討しているのか。

町長 トイレトレーラーは衛生環境の改善が図れるなど活用が期待される。先進地を調査し広域での購入など、あらゆる手段を検討していきたい。

問

日常活動と施設の更新を

健康増進と体力づくり

答

施設の快適さの向上に努める



たけばやし まさひで
竹林 昌秀
議員

近隣より
魅力を高めて
交流人口を得よう

竹林 スポーツ協会の活動推移を報告願う。

教育長 8部会370名の会員だ。総計で42、461人の利用があり、対前年度の130%で、大幅な活動回復だ。

竹林 合併時から半減だが、会員外の児童生徒への普及と指導が目まじしい。種目間で、利用料金の差異は小さくしたい。近隣施設より、優位な料金体系を求める。

教育長 近隣は稼働実績を公表していない。協会に団体利用への減免措置があり差異は小さい。

竹林 練習場所に、日陰とか休憩や応援とかの快適性を増進できぬか。

経年劣化に対応するだけでない、機能向上を期待する。

教育長 基本機能だけでなく、猛暑への対応や居場所にも配慮する。



熟年利用のテニスコート

教育者の節度ある表現

問

生徒の個人情報・人物評価・
行動記録の必要性は

答

学習指導・生活指導において必要であり、引き継がれていく



京兼 今年、他県で教諭が生徒の個人情報記載された資料を一時紛失し、その資料がSNSに投稿され「嫌われ傾向」「低学力」「母親うるさい」などが拡散される。紛失したことより、教諭の認識で評価されて個人情報がつくられている事や決めつけされていること。

良くない評価を受けた子どもは、とても心が痛むのではないか。個人情報を作成する時、子どもや家族を傷つけないように真剣に取り組み、また、子どもが健やかに育つように見守ってほしい。本町の今後の取り組みは。

教育長 近年、これらの個人情報流出したり、管理が不備であったりするといった事例があり、本町も細心の注意と配慮を学校に徹底している。先生方には情報管理の徹底、研修や校内指導を徹底していく。



きょうかね あいこ
京兼 愛子
議員

広い心で子どもを見守って

姉妹縁組

問

国内・国外での姉妹縁組を

答

文化交流、学生の相互訪問など理解や協力の深化を期待したい



しらかわ まさき
白川 正樹
議員

異なる文化を体験してほしい

白川 まんのう町では現在姉妹縁組をしている自治体はない。国外では、今年7月8日に、台湾の屏東大学と交流協定を締結したが、まんのう町と屏東大学がある屏東市との姉妹縁組を検討したことがあるか。

また、国内の案を一つ示したい。昭和51年の第1回、国指定重要民俗文化財に指定され、一昨年、ユネスコ無形文化遺産に同時に登録され、保存会の名称に「綾子」が付き、登録される前から

交流がある新潟県柏崎市との姉妹縁組を検討してはどうか。

町長 国内外の自治体と姉妹縁組を結ぶことで地域の発展や町民の国際理解の促進を図り、地域間の文化交流、学生の相互訪問など理解や協力の深化が期待される。

また伝統芸能や地域文化の相互理解を深めるために今後調査、および検討する。



「綾子舞」現地公開(2024新潟)

学校給食

問

財政力が違うだけでは 済まされない

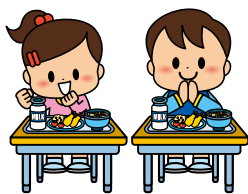
答

全国一律の無償化を国に要望する



つねかね めぐみ
常包 恵
議員

隣町と教育環境に
大きな格差



常包 全国1794市区町村で約4割が無償化、県内でも小豆島町、丸亀市、直島町、宇多津町など7市町が無償化を実施している。無償化により保護者の責任感が薄れるとの意見もあるが、子どもが家庭、社会の状況に左右されずに安全で栄養価の高い給食を食べ続けられることが重要だ。東京都葛飾区で修学旅行無償化報道もあった。自治体の財政状況や対象者の多い、少ないで教育環境に大きな格差が広がっていることが問題だ。

また、町内の小中学校給食を一齐に無償化できないならば、部活動、塾などの経費が増える中学校から無償化してはどうか。給食費、修学旅行費などを支援する就学援助制度の申請漏れがない体制を要望する。

教育長 こども園、小中学校の給食を無償化すると、年間約8300万円必要である。全国一律で給食費の無償化を実現できる仕組みづくりを、要望・推進していくべきと考えている。関係機関に強く働きかけていきたい。

段階的な無償化も手法の一つと考えるが、負担が増加する中学校、若い子育て世帯のこども園、対象者が複数になる割合が高い小学校など様々な条件を加味した検討もしなければならぬ。

就学援助費の申請漏れや申請に対するためらいが生じないよう、啓発や手法を検討する。

問

我が町の空き家対策と 地域振興は

答

新たな取り組みを模索し、地域振興に尽力していく

空き家対策と地域振興



いしざき やすひこ
石崎 保彦
議員

空き家の
対策と活用を



石崎 空き家対策は喫緊の課題である。我が町の豊かな里地里山を守り、快適な住環境を創るには、各地に点在する空き家対策はとても重要である。一見、負の財産と思われる空き家だが、一軒一軒に的確に対応すれば、地域の景観を守り、地域振興にも寄与する。整理と活用が大切だ。まんのう町がまとめた「空き家等対策計画」は素晴らしい。これに沿った私の計画実行案を提案した。地域おこし協力隊を中心に行政と住民と行政書士や住宅関係業者のネットワークによる「空き家対策」を推進したいが町長の思いを問う。

町長 提案頂いた取り組み案により、現状並びに問題点について再認識出来たので、今後解決に向けて取り組みたい。これまで取り組めてなかった、空き家を活用した移住体験やお試し住宅などについては、現在、地域おこし協力隊の活動ミッションとして、先進的な自治体への視察研修等を実施し、情報収集している。また、移住者交流会の実施や、LINEを活用した移住オンライン相談、空き家巡回相談会、セミナー開催など、これまで町が行えてなかった部分を積極的に実施し、空き家を資産として地域振興に尽力していく。

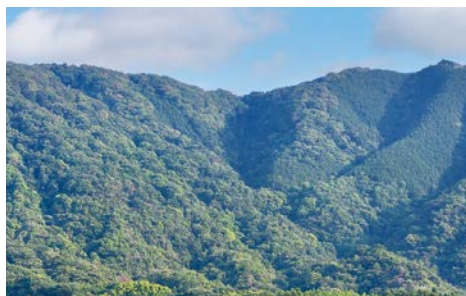
森林整備

問

ゲリラ豪雨に対する
保水力ある森林整備を

答

森林・林業の推進に努めていく



川原 近年では、記録的短時間で大雨、ゲリラ豪雨が降る。この突発的な豪雨により生命、財産が被害を受けている。今後どのように、保水力ある森林整備をし、山を守るのか。今後、森林整備に対する予算の確保を要望する。

町長 森林が持つ土砂災害防止機能と洪水緩和機能という防災機能の発揮を高める森林整備が重要であるが、線状降水帯のような大雨の場合は森林整備だけの対策には限界がある。そのために総合的な防災対策が必要と考えている。また、森林整備の予算確保を推進していく。



かわはら しげゆき
川原 茂行
議員

森林整備の予算
確保を

SNSの活用

問

SNSを活用した
情報発信の考えは

答

近隣自治体の活用事例を調査・研究する

真鍋 SNSを活用した情報発信における、公式LINEの導入や専門的人材の登用など、町長の考えは。

町長 LINEはすべての世代に普及しているメジャーなツールであり、情報発信やマルチメディアを活用した利用を総務課DX推進室で情報収集をしているが、個人情報を取り扱う場合には安全性に留意する必要がある。また、上手な情報が見せ方や効果的な情報発信を行う上で、それに対応した専門的人材を登用または委託することが必要と考えているが、その費用対効果も同時に考えなければならぬ。近隣自治体の活用事例を引き続き調査・研究する。



まなべ たいじろう
真鍋 泰二郎
議員

公式LINEの
導入を



道路異常の通報

町長 スマートフォン等を利用して道路異常の通報をすることで、現場状況や位置情報が担当部署に送信される独自のシステムを導入している自治体もあり、道路の地理がわかりにくい場合においても正確かつ簡単に通報ができるものと考えている。今後、国・県のシステムとの共有の可能性、システム構築と運用における課題やコスト、災害時への活用などを検証し、導入を検討する。

問

町独自の
通報システムを
導入してはどうか

答

課題やコストを
検証する



おおにし ゆたか
大西 豊
議員

随意契約に
ついて問う



有価物である発電機を特別管理廃棄物として高額な処分料を支払い処分したものと類似の現在も使用中(40時間)の同年代の発電機(役場庁舎の地下室で稼働中)

問

随意契約は 適正に行われているのか

答

指摘を受け、設計段階で有価物についてはマイナス設計で対応している

いく。
えで契約行為をして

町長 設計段階で有価物についてはマイナス設計で対応している。今後とも随意契約を締結する場合は、まんのう町建設工事執行規則の第5条を遵守し、慎重に判断したうえで契約行為をしていく。

また、随意契約では契約の相手方の選定が公平かつ合理的に行われることが重要である。特定の企業や業者への利益供与にならないよう、相手先の選定過程を透明にすることが肝要である。

大西 随意契約は地方公共団体が競争入札に頼らず任意契約で決定した相手との契約を締結する契約である。さる3月議会では今後も調査研究をしていくとの答弁だった。そこで香川県や類似団体ではどうかを調べてみると、発注前に県内業者に見積りをとりマイナスの設計単価を基本に発注しているようだ。

町長 随意契約の条件は、緊急性、特殊技術の必要性などを満たさない限り随意契約は行うべきではないと考えている。

大西 随意契約の総点検を行い、議会に報告すべきである。また、これまで何度も議会が指摘し、町の備品を処分するにあたっては分別して有利に処分するはずであった。

町長 随意契約の条件は、緊急性、特殊技術の必要性などを満たさない限り随意契約は行うべきではないと考えている。

町議会を傍聴してみよう

町議会は、町民の皆さんの意思を行政に反映させる機関です。会議当日、受付で手続きをすれば、どなたでも傍聴できます。受付は、町役場4階議会事務局窓口で行います。お気軽にお越しください。

9月定例会
傍聴合計人数 13名

傍聴にお越しいただきありがとうございます。

次回の
定例会は12月に
開催予定です。

会議日程は、
ホームページ、告知放送で
お知らせしています。

詳しくは議会事務局へ ☎0877-73-0109



#人と自然が輝くまち

Magazine Photo Gallery



あとがき

副委員長 真鍋 泰二郎

秋深し 議員は何をする人ぞ

住民のみなさま、いかがお過ごしでしょうか。すっかり秋が深まり、ふるさとの野山も秋色に染まってまいりました。

さて、「議云だより53号」をお読みいただきありがとうございます。編集委員一同、見やすさと分かりやすさを追い求めて、編集作業に取り組んでおります。今後ともご愛読くださいますようお願い申し上げます。

また、11月17日、19日に町内各所で議会報告会（意見交換会）を開催いたします。議会での議論はもとより、議員個人の考えや人となりも分かる機会です。議会報告会は誰でもご参加いただけます。

議会報告会で、みなさまにお会いできるのを楽しみにしております。



議会広報特別委員会

〈委員長〉白川 正樹
〈副委員長〉真鍋 泰二郎
〈委員〉川西 米希子
〈委員〉竹林 昌秀
〈委員〉鈴木 崇容
〈委員〉石崎 保彦